

# 再生

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

裸体にて燕麦をこく逞しさ

夕ばえの光り明かく照り映ゆ

森信三先生あいうえお語録より

第0042号

2020.2月号

令和三年

実践人福岡仁風読書会

再生の題字（森迪彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



# 現代における孝の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

六 親はすぐれたるが故に敬するに非ず、

親たる事実のゆえに敬するべきである

絶対的關係

とコトバで本章の冒頭の

「親すぐれたるがゆえに敬するに非ず、親たる事実のゆえに敬するのである」というコトバですが、親は子にとっては相対的關係でなくて、絶対的存在だということですから。要するに優劣・善悪・好悪という比較判定の生ずる相対的關係を越えたいのちの絶対的なつながりだということですから。逃げようにも逃げられない、切ろうにも切ることのできない生命的紐帯によって結ばれた絶対的な関係だからであります。

それゆえお互い人間は、その対人関係において、快・不快という相対的な感情から脱しえないのでありますが、しかしこの親子の關係のみは、正に生命の絶対的なつながりでありますから、もしこれをないがしろにしたら生の根源たる天地の恩恵をわすれた忘恩の徒と言わざるを得ないでしょう。おのが「生」をみづめいのちの根源に合掌する他ないのが、われわれ人間存在なのでしょう。

七 親はいのちの根であり元である

根を養えば樹はおのづから育つ

生命の実相

若い皆さんたちも「蒔かぬ種は生えぬ」とか、「楽は苦の種、苦は楽の種」というコトバを聞いたことがおありでしょう。コトワザというものは、単に俗諺として

実践人福岡仁風読書会 第39回 1月5日(日)

場所福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 仁風庵にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

軽視できないばかりか、生きた真理を端的に庶民的な表現をしているものでありまして、たとえば「親の云うのとナスビの花にただの一つもアダはない」という俗言にしても、同様であります。ところでこの「根を養えば樹はおのづから育つ」というコトバは、日本教育界の至宝ともいえるべき東井義雄先生の本の題名にあるコトバなのです。これはたれも疑うことの出来ない植物的生命の心理であります。このように生命の心理というものは、植物をたとえにして説かれる場合が少なくないのでありますが、植物の世界はつねにわれわれが直接眼で見ることのできる世界であり、しかもその成育のようが四季を通して鮮明だからであります。それにまた今ひとつわれわれ日本民族は農耕民族だからであります。ところが、とにかくコトワザの中には、植物を材料にしたものが意外なほど多いのであります。ところでこの「根を養えば樹はおのづから育つ」とは今さら説明の要もないわけで、「根」についてはいろいろの解釈も出来ましようが、東井先生の書物ではこの根というコトバがあるように、人間の心情を示唆しておられるようでありまして、いわば「人間教育」の根本理念をこの一語に凝結しておられるのでありまして、如何にも先生らしい教育的真理の具体的表現と思われれます。ところでわたくしがここでこのコトバを使用するのは、実は生命の真理と実相を説かんがためであります。しかしそれに先だって、一おう東洋と西洋との文化の比較してみたいと思えます。

主体的な人間創り

長い教壇生活の最後に、母校の中牟田小学校長として帰ってくるようになった私は、この上もない幸せで、教師冥利に尽きると感激でいっぱいだった。

あたかも、中牟田校は創立五十周年を迎え町内小学校教室改築五ヶ年計画の第一着手として新しく八教室が竣工したばかりであり、又、記念事業として校区、卒業生等の寄贈による独立図書館が建築中で略々竣工をまつまになつていた。私は、これら校舎校庭の改築改装とあわせて、本校創立後の第二の五十年の第一歩として教育の改善振興をはかるべき任務を心深く認識して、身の引き締まる思いであった。

校長が変わると、よかれあしかれ、学校は一変する。そうした意味から校長の移動は大きな意義があろう。そこで新校長は、意図的に思いきつて方針を換えて行く方法が一つあつて、それが名校長である場合は、旧来の宿弊を一挙に処理して新たな気風を盛り上げて大成功をする場合が多い。

しかし、又、前任校長の方針をそのまま受け継いで、学校の伝統を育てて行く方法も一つあつて、私の如き無能な者はこの方法がよほど無難であると思ひ、私はこの方法で、前田校長の遺志を受け継ぐことにし、三つの方針をたてた。

- 第一、過去三ヶ年の体育研究の実績を受継いで健康教育を前進させること。
- 第二、折角の独立図書館を活かして図書館教育を第一歩より初めること。
- 第三、第一次校舎改築を機会に環境の整備に努力すること。

その年も五月異動であつたので、四月中こうした方向に進められていて、研究組織も体育部と図書館部の二つに別れていた。第三の課題である環境整

備については、改築に伴う校庭の全面的改革で、連日のようにPTAの奉仕作業が続いていた。

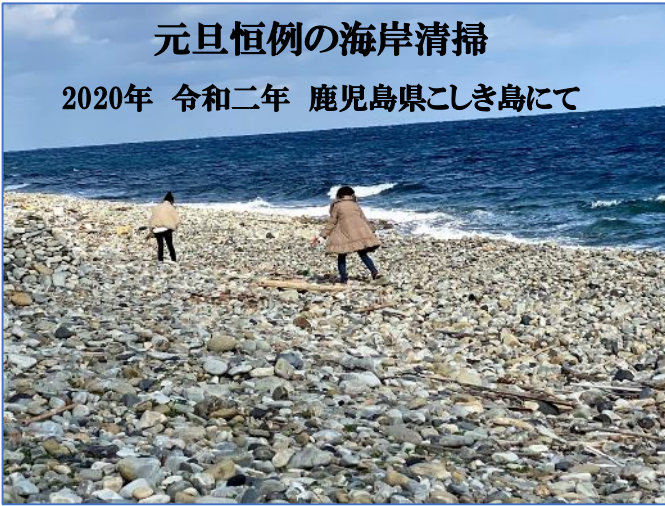
それにしても、教育の目標については、この際、はっきりしたものを確立しておかなければならない必要を感じた。

本校区は嘉穂郡筑紫郡に隣接し、福岡市や産炭地と接触が多く、町内に於いても最も問題の多い所であつて、非行がかった行動の絶え間がなく、知識欲の盛んな家庭とともに、反面、学業不振児が多く、この方面にも根強い方針をたてておかねばならなかつた。私は立石校時代のクラブ活動を中核とした自主的学習、三並校時代の自主と協力のグループ学習に、更に、江川校時代の創造の学習を加え、自主、強力、創造の三を一体として、主体的人間創りを目標にして、その裏付けや肉づけは、今後の実践とともに進めていくことにした。

私は最後の御奉公に、それからの六ヶ年間を、有志、PTA、子ども、教師、先輩、などのあらゆる後援をたのみの綱として本校の問題解決に体当たりして、母校出身校長の任務の一端でも果していきたいと考えた。







### 元旦恒例の海岸清掃

2020年 令和二年 鹿児島県こしき島にて

### 新新塚駅早朝清掃/いづか明星寺団地自治会

1月18日(土曜日)





# 新国立競技場周辺早朝清掃に参加

1月28日(火曜日)



1月28日(火曜日) 昨年主張時、新国立競技場の一人ゴミ拾いを菅刈公園の道友たちに伝えたところ、早速に新年より毎週火曜日、早朝五時半に外苑前に集まり、国立競技場前までの歩道、側道のグレーチングと徹底したお掃除を始めてくれました。この日は、関東地方は大雪の注意報が出ていましたが、幸い雨だけでまだ暗い外苑前3番出口に道友8人が集いました。気温は2度?位、ゴミを拾う手は、氷のように冷たくなり、指の感覚も薄れて行きます。掃除前は、「どんな掃除ができるかしら」なんてはしゃいでいましたが、百mも進むと口数も少なくひたすら夢中になるしかありませんでした。例外なくお掃除と向き合ったこの日はまた大切な気付きを頂きました。



日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第314回

# 博多駅 早朝清掃

毎月8日 午前6時15分～

【第一回】平成5年12月8日開催

福岡実践人・JR九州博多駅  
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

ハウスマイト



## 第314回 博多駅早朝清掃

1月8日(水曜日)

55名参加



第314回「博多駅早朝清掃」は、夜半から降り続いた雨もラジオ体操をする頃は、小康状態となりました。同志道友が55名集い、雨でぬれた歩道や側道のゴミ拾いを楽しみました。すっかり常連となられた駅長も参加。途中、「ちょっと表のガム剥ぎをさせていただきます。雨でぬれていてよく剥げます」と声をかけて頂き、颯爽と消えて行かれる姿は、まだ暗い早朝の博多駅に輝きを与えてくれるマドンナのようでした。世話人：とみよし 拝





博多駅長の挨拶



小6の司会者





# 令和を巡る早朝清掃／戒壇院 2020.1.25～

1月25日(土曜日)



## 令和を巡る早朝清掃in戒壇院

●主旨：元号が平成より令和に変わって、ひときわ賑わうようになってきた大宰府市こと、令和の語源を詠まれたという坂本八幡宮周辺の観光客はめまぐるしいものです。これまで、平穏だった政庁跡を取り巻く史跡や神社・仏閣をこれまで以上に厳かに平穏に保つために、福岡掃除に学ぶ会の道志は、戒壇院さまの御厚意で、活動の拠点を頂きました。ごみ一つないきれいな令和の街づくりを目指し、毎月一回、戒壇院・観世音寺から坂本八幡宮へと、ゴミ拾いをさせて頂き地域の清浄に努める。またゴミ拾いを通じて自身の心を磨き、心豊かな日常に心がける。

●清掃活動範囲：戒壇院から坂本八幡宮を結ぶ周辺施設および沿道

●開催日時：毎月最終**土曜日** 午前6時30分～午前8時00分までの1時間30分

●雨天決行

●集合場所：戒壇院駐車場 大宰府市観世音寺5丁目7番10号

●参加者：福岡県内外の一般市民

●主催者 認定NPO法人日本を美しくする会

福岡掃除に学ぶ会 担当:とみよし



# 第119回 冷泉公園&櫛田神社早朝清掃

1月5日(日曜日)



櫛田神社

7名参加



冷泉公園

7名参加







深谷市のOさん農家のミニトマトです。土壌改良材てんてんを使用して、偏差値2点UPという評価を頂きました。



深谷ブランド 新戒ネギも土壌改良資材てんてんと、軟腐病が出た時にはTKHを散布、症状改善早めの復活となり無事に収穫出来ました。



この工業時代に、モリスの理想はいかに可能となるのか、という問いにわれわれは依然として答えられないでいる。というより、物の姿の詩的直観よりもその概念的把握のほうにいつそうの社会的価値を認める今日では、デザインの専門家たちでさえ、モリスが身をもって示した問題の意味を理解しがたくなっているのではなからうか。

モリスは、ようやく薄れゆく中世の記憶をかき消すかのように急激に都市化する世紀末の生活環境のただなかに、人類史が周到に狙いをつけて登場させたような人物であった。

猛進する経済のかげで、自然美と伝統的生活美とが危機に瀕したとき、「人間環境の美的秩序と社会経済機構の正しいあり方は表裏一体なのだ」と喝破したラスキンとモリスといったような特定の局面だけを見れば、とうてい受け入れがたいこともあった。けれども、英国人の生活の好みと人間的価値の源流を中世にさかのぼって問いつめた二人の思想のひたむきな深さは、環境の精神的価値をとりもどそうとして苦悩する英国のミドルクラスの魂を内面から揺さぶるだけの迫真力をもっていた。近代主義との対決が日常生活空間のデザインという具体相においておこなわれていたところに、その思想の強さがあった。それゆえ、モリスのユー・ピアニズムが「近代都市計画の初期唱導者の間にアメニティ概念を育て、それを通してきわめて現実的な役割を果たすという逆説も、この時代存在しえた」のである。

実際、モリス自身、工芸運動と並んで、一八七七年に古建築物保存協会を創設して、都市風景問題に貢

献している。そして「ユー・ピア通信」で現前するイングランドの風景のなかに幻視された、清らかに中世風田園都市の理想像は、公害の淵にのたうつ近代都市の「地獄の莊嚴」にさいなまれていた人びとを有頂天にさせる力をもっていたのである。

しかし、この都市アメニティの黎明時代の実際家の代表としては、やはりオククヴィア・ヒル女史の名をあげなければならぬであろう。彼女は、手始めに、自ら家主として住宅を管理し、借家人との接触を通じて、都市住宅の快適さ、便利さを改善するためのさまざまな工夫と実践をおこなった。そしてさらに、環境の倫理的水準の向上という見通しのもとに、都市環境のアメニティ改善を目指す福祉事業の多くにかかわった。そして一八九五年に、ナショナル・トラストを創設して、自然と史的建造物の保護に大きな貢献をすることになるのである。

一方、産業革命が円熟していく過程で、ロバート・オーウエンのニューラナークに始まる農工総合型理想都市建設の系譜があった。

風景学入門より

中村良夫 著

中公新書 二〇〇一年

二〇二〇年一月二七日

広葉の林を育てる会

興膳 丈治

光然京カルデラ

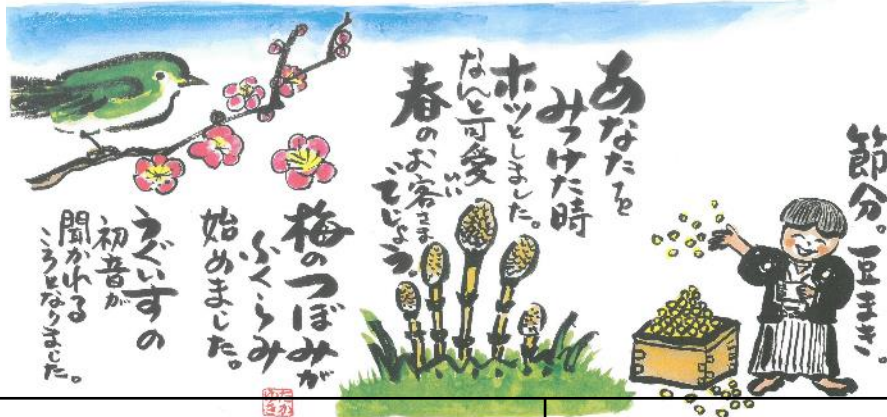


戒壇院前の田園風景



2004年の光然京





2月の活動予定表

3月の活動予定表

	2月の活動予定表											3月の活動予定表									
日	1	1	2	2	8	15	16	19	20	22	29	1	1	7	7	8	14	19	24	28	29
曜	土	土	日	日	土	土	日	水	木	土	土	日	日	土	土	日	土	木	火	土	日
行事活動名	福岡空港「リオン清掃」第21回	仁風読書会	榎田神社「トイレ磨き」第1200回	冷泉公園「トイレ磨き&トイレ拭き」第1200回	博多駅早朝清掃 第315回	第34回 実践人東京地区研修会	埼玉県農業生産者 支援	第13回 日本を美しくする会 総会	新宿歌舞伎町早朝清掃	新飯塚駅早朝清掃	令和を巡る早朝清掃	榎田神社「トイレ磨き」第1201回	冷泉公園「トイレ磨き&トイレ拭き」第1201回	福岡空港「リオン清掃」第21回	仁風読書会	博多駅早朝清掃 第316回	新飯塚駅早朝清掃	埼玉県農業生産者 支援	新国立競技場早朝清掃	令和を巡る早朝清掃	福岡掃除に学ぶ会 福岡実践人 世話人会
場所	福岡空港 周辺一万㎡	福岡空港 月隈第一緑地	榎田神社	冷泉公園	博多駅筑紫口	東京都品川区	埼玉県川越市	東京都新宿区	東京都新宿区	福岡県飯塚市	福岡県太宰府市 戒壇院	榎田神社	冷泉公園	福岡空港 周辺一万㎡	福岡空港 月隈第一緑地	博多駅筑紫口	福岡県飯塚市	埼玉県川越市	地下鉄外苑前駅 3番出口	福岡県太宰府市 戒壇院	仁風庵
開始時刻	6時30分	7時30分	6時	6時40分	6時00分	午後	16日〜18日	午後	5時50分	6時30分	6時30分	6時	6時40分	6時30分	7時30分	6時00分	6時30分	19日〜23日	5時30分	6時30分	
運営団体	福岡掃除に学ぶ会	福岡仁風読書会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	実践人東京読書会	NPO法人楽農人	日本を美しくする会	東京掃除に学ぶ会	いづか掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡仁風読書会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	いづか掃除に学ぶ会	NPO法人楽農人	日美会 有志連合	福岡掃除に学ぶ会	福岡実践人

発行人(編集人) 富吉 袈裟右衛門

- ◇福岡掃除に学ぶ会/認定NPO法人 日本を美しくする会
- ◇福岡仁風読書会/一般社団法人 実践人の家
- ◇笑仲クラブ/特定非営利活動法人 楽農人

〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 <<仁風庵>>

TEL 092-931-8155(掃除) 931-8150(読書) FAX 092-931-8120

E-mail fukusoukai@souji.link (掃除) agri@kesajin.link (農業)



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。